

令和8年度 「文学国語」 年間学習指導計画

教科	国語	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	新編文学国語（大修館書店）		
科目	文学国語	副教材	完全マスター古典文法（第一学習社） 重要古文単語 315（桐原書店） 漢文必携（桐原書店）		
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが十分にできる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が十分に養われている。
B	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が養われている。
C	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが不十分である。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが不十分である。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数				
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典特有の表現を理解する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 星取り</li> <li>・ 児の飴食ひたること</li> <li>・ かぐや姫の昇天</li> <li>・ 月やあらぬ</li> </ul> </li> <li>○ 漢文特有の表現を理解する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登殿最期</li> <li>・ 四面楚歌</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典文法知識や古典常識を学び、それらを活用して、内容を捉える。</li> <li>・ 作品から教訓を学び、古典に対する理解を深める。</li> <li>・ 登場人物等の心情の動きを、論理的な観点から読み取り、作品理解を深める。</li> </ul>	【読むこと】	20				
	5								
6									
7									
8									
9									
後期	10					<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名作を読み、主題を考える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山椒魚</li> <li>・ ころも</li> </ul> </li> <li>○ 文学を生み出す                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語を紡ぐ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。</li> <li>・ 優れた表現に触れ、読み味わうとともに、主題を考察する。</li> </ul>	【読むこと】	20
	11								
	12								
	1								
	2								
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発想を広げ、様々な作品を参考にして、物語の発案と執筆に取り組む。</li> </ul>	【書くこと】	15						

令和8年度 「政治・経済」 年間学習指導計画

教科	公民	学年・コース	第3学年	単位数	1
		教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）		
科目	政治・経済	副教材	政治・経済ノート（第一学習社）		
教科の目標	<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解をとおして涵養される国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>				

1 評価観点・学習目標

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
政治、経済、社会、国際など現代的諸事象を項目別に理解し、関連する課題の要因などを理論的に理解すること。既存のデジタル技術の活用ができ、効果的な思考・判断・表現のツールとして理解できること。	現代的諸事象の意味や意義、特色・相互関連を、地域・国家・個人などに着目して、得た知識や技能を活用して多面的・多角的に考察できること。考察したことを効果的に説明し、議論できること。	政治経済分野に限り20%ルールを適用し、探究的な学びを自主的に展開できること。現代的考察で得た知識を地域・国家・地球規模の課題に結びつけられること。これらを持続可能性という観点から探究課題を自ら設定し、他者への発信を行うことができること。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	日本国憲法と現代政治のあり方 市場経済の機能と限界 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 高校生議会 町議会傍聴 質問通告書の記載	・資料収集、資料読解 ・ワークシート ・グループワーク	高校生議会は町議会と連携し、弾力的に行う。	17
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	持続可能な財政および租税のあり方 金融を通じた経済活動の活性化 高校生議会 町議会議員によるサポート授業 質問通告書の記載 町議会参加	・資料収集、資料読解 ・ワークシート ・グループワーク	高校生議会は町議会と連携し、弾力的に行う。	18
	10				
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				

令和8年度 「数学Ⅱ」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)		
科目	数学Ⅱ	副教材	パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版)		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることができる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	単元における基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な表現・処理をしたりすることができる。 事象の構成や性質に着目し、数学的な考察・表現をとおして事象の特徴や関係性等を発見することができる。 課題解決に数学的な見方・考え方・解釈の活用やその過程を振り返ることで評価・改善をしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付けて理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な表現・処理をしたりすることができる。	事象の構成要素やその関係に着目し、数学的な表現を基に論理的に考察し証明したり、特徴や事象同士の関係を発見したりすることができる。	日常の課題に数学を活用することのよさを認識し、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善したりしようとしている。
B	各単元の基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な処理をしたりすることができる。	事象の構成要素やその関係に着目し、数学的な表現を基に論理的に考察することができる。	粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいた判断や、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしようとしている。
C	各単元の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。	数学的な表現を基に論理的に考察することができる。	数学的論拠に基づいた判断や、問題解決の過程の振り返りをしようとしている。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第4章 三角関数	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		35
	5	第1節 三角関数			
	6	第2節 加法定理			
	7				
	8	第5章 指数関数と対数関数			
9					
後期	10	第6章 微分法と積分法	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		35
	11	第1節 微分法			
	12	第2節 積分法			
	1				
	2				
3					

令和8年度 「数学C」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第3学年 αコース	単位数	1
		教科書	新編 数学C (数研出版)		
科目	数学C	副教材	新課程 Study-Up ノート数学C (数研出版)		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることができる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することができる。 粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしたりしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分にできている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが十分にできている。	粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分にできている。
B	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが概ねできている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが概ねできている。	粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが概ねできている。
C	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分でない。	大きさや向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが十分でない。	粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分でない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第2章 空間のベクトル	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		18
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	第3章 複素数平面	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		17
	10				
	11				
	12				
	1				
2					
3					

令和8年度 「発展数学」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	なし		
科目	発展数学	副教材	基本ワーク数学（増進堂・受験研究社）		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることができる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 数学的な創造性の基礎的な力を養い、事象を数学的に考察して表現することができる。 粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしたりしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分にできている。	数学的な創造性の基礎的な力を養い、事象を数学的に考察して表現することが十分にできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分にできている。
B	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが概ねできている。	数学的な創造性の基礎的な力を養い、事象を数学的に考察して表現することが概ねできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが概ねできている。
C	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分でない。	数学的な創造性の基礎的な力を養い、事象を数学的に考察して表現することが十分でない。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分でない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	数の計算 式の計算 因数分解 約数と倍数 根号を含む式の計算 式の値 方程式と不等式 文章問題 1次関数 2次関数	<b>【学習活動】</b> ・演習 ・グループワーク ・振り返り 等		35
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
後期	10	図形と角 合同・相似な図形 円 図形の面積 三平方の定理 立体の表面積・体積 三角比 規則性の問題 場合の数 順列・組合せ 確率 データの分析	<b>【学習活動】</b> ・演習 ・グループワーク ・振り返り 等		35
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				

令和8年度 「化学」 年間学習指導計画

教科	理科	学年・コース	第3学年 αコース	単位数	4
		教科書	化学 Vol.1 理論編 Vol.2 物質編 (東京書籍)		
科目	化学	副教材	ニューアチーブ化学 (東京書籍)		
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをおして、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	物質に関する原理・法則を理解し、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方を十分に身に付けている。実験に関する技能を十分に習得している。実験データを収集し、分析・考察など化学的に探究することが十分にできる。	化学的な事物・現象を、物質の関する原理・法則を基に論理的に考察し、適切な用語を用いて的確に表現することが十分にできる。	物質とその変化について日常生活や社会との関連を図りながら考察しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が十分に養われている。
B	物質に関する原理・法則を理解し、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方を身に付けている。実験に関する基本的な技能を習得している。実験データを収集し、分析・考察など化学的に探究することができる。	化学的な事物・現象を、物質の関する原理・法則を基に論理的に考察し、適切な用語を用いて的確に表現することができる。	物質とその変化について日常生活や社会との関連を図りながら考察しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が養われている。
C	物質に関する原理・法則の理解や、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方が不十分である。実験に関する基本的な技能の習得が不十分である。実験データを収集に留まり、化学的な探究が不十分である。	化学的な事物・現象を、物質の関する原理・法則を基に論理的に考察し、適切な用語を用いて的確に表現することが不十分である。	物質とその変化について日常生活や社会との関連を図りながら考察しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の状態</li> <li>化学反応とエネルギー</li> <li>化学反応の速さと平衡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結晶構造、結晶格子、気液平衡、気体の法則、気体の状態方程式、理想気体と実在気体、溶解平衡、蒸気圧効果、コロイド</li> <li>反応エンタルピー、反応エントロピー、ヘスの法則、電池、電気分解</li> <li>化学反応の速さ、反応速度式、触媒、活性化エネルギー、化学平衡、ルシャトリエの原理、電離平衡、水素イオン濃度とpH、加水分解、溶解度積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学は、ただ単純に覚えればいいというものではなく、関連付けて覚えることが大切です。</li> </ul>	60
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>無機物質</li> <li>有機化合物</li> <li>高分子化合物</li> <li>演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非金属元素、典型元素、遷移元素、金属イオンの分離</li> <li>特徴と分類、構造決定、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物</li> <li>実験をおして、化合物の特徴を確認しながら進める。</li> <li>高分子化合物の特徴、天然高分子化合物、合成高分子化合物</li> </ul>		60
	10				
	11				
	12				
	1				
2					
3					

令和8年度 「地学基礎」 年間学習指導計画

教科	理科	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	改訂 地学基礎 (東京書籍)		
科目	地学基礎	副教材	ニューサポート 改訂 地学基礎 (東京書籍)		
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをおおして、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	日常生活や社会との関連を踏まえた地学や地学現象についての理解及び科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を十分に身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が十分に身に付いている。	地学や地学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が十分に養われている。
B	日常生活や社会との関連を踏まえた地学や地学現象についての理解及び科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が身に付いている。	地学や地学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が養われている。
C	日常生活や社会との関連を踏まえた地学や地学現象についての理解及び科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が不十分である。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が不十分である。	地学や地学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度、実験において主体的に観察し、分析しようとする態度が不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地とその動き</li> <li>火山活動と地震</li> <li>地球の熱収支</li> <li>大気と海水の運動</li> <li>宇宙の構造と進化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球内部の層構造やプレートについて理解する。</li> <li>マグマや噴火、火成岩や地震について理解する。</li> <li>特に日本は自然災害が多いので関連付けながら学習する。</li> <li>地球の熱収支について理解する。</li> <li>大気の大循環、またそれに伴う海水の循環について理解する。</li> <li>宇宙の構造、太陽系や惑星について理解する。</li> </ul>		30
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層と化石の観察</li> <li>古生物の変遷と地球環境</li> <li>日本の自然の恵みと防災</li> <li>地球環境の考え方</li> <li>自然環境の変動</li> <li>これからの地球環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層の形成、堆積岩の分類、化石や地層の層序関係について理解する。</li> <li>地球の歴史について理解する。環境の変化や生物の変遷とも関連付けながら学習する。</li> <li>日本の自然環境の特徴について理解する。</li> <li>環境と人間生活とのつながりについて考える。</li> </ul>		30
	10				
	11				
	12				
	1				
2					
3					

令和8年度 「体育」 年間学習指導計画

教科	保健体育	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	なし		
科目	体育	副教材	なし		
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	その種目の運動技能が十分に身につけている。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能の習得と関連させて知識を深めた記載があり活用できる。	課題解決に向けて、合理的な動きと比較したり、分析し、成果や良い点、修正点などを十分に指摘したりしている。振り返りシートにおいては課題解決に向けて工夫した内容が十分に記載されている。	自分から公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動を行う姿が見られ、振り返りシートにも十分に記載されている。
B	その種目の運動技能が身に付いている。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能に関連させた記載がある。	課題解決に向けて成果や良い点、修正点などを指摘している。振り返りシートにおいては課題解決に向けて工夫した点が記載されている。	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動を行う姿が見られ、振り返りシートに記載されている。
C	その種目の運動技能が不十分である。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能に関連させた記載が不十分である。	課題解決に向けた指摘が不十分である。振り返りシートにおいては課題解決に向けた工夫の記載が不十分である。	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動、振り返りシートの記載が不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	・ガイダンス	・授業を受けるに当たってシラバスをもとに確認		35
	5	・体づくり運動	・リラクゼーション、ストレッチング、集団行動、基礎トレーニング、体力テスト実施		
	6				
	7				
	8				
9	・バスケットボール	・パス、ドリブル、シュートなどの基礎技術、ドリル練習、攻守、チーム戦術、簡易ゲーム（ハーフコート）、ゲーム（オールコート）ルールと審判法			
		・陸上競技	・リレー、バトンパス練習		
		・体育大会に向けて	・練習計画作成、課題分析		
後期	10	・フットサル	・リフティング、ボールコントロール、パス、キック、ドリブル、ヘディング、シュートなどの基礎技術、ドリル練習、攻守、チーム戦術、ゲーム、ルールと審判法		35
	11	・カーリング	・ショット、スウィーピング、攻守、ゲーム、ルールと審判法		
	12				
	1				
	2				
3	・バレーボール	・パス、レシーブ、トス、サービス、スパイクなどの基礎技術、チーム戦術、ゲーム、ルールと審判法			
		・バドミントン、卓球	・サービス、ショットなどの基礎技術、ドリル練習、攻守、スキルテスト、ゲーム、ルールと審判法		
		・体育理論	・Ⅲ単元 豊かなスポーツライフの設計		

令和8年度 「英語コミュニケーションⅢ」 年間学習指導計画

教科	外国語	学年・コース	第3学年	単位数	4
		教科書	COMET English Communication Ⅲ (数研出版)		
科目	英語コミュニケーションⅢ	副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COMET Ⅲベーシックノート (数研出版)</li> <li>・Listening Box 2 (啓林館)</li> <li>・Willing NEW 基本の英語 3rd Edition (啓林館 ※継続使用)</li> <li>・英単語ターゲット1200 (旺文社 ※継続使用)</li> </ul>		
教科の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動をとおして、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。				
科目の目標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用しながら5領域を実現させる。</p> <p><b>【聞くこと】</b> 話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようになる。</p> <p><b>【読むこと】</b> 使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようになる。</p> <p><b>【話すこと [やり取り]</b> 使用する語句や文、対話の展開などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようになる。</p> <p><b>【話すこと [発表]</b> 使用する語句や文、事前の準備などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようになる。</p> <p><b>【書くこと】</b> 使用する語句や文、事前の準備などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようになる。</p>				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
B	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解し、これらの知識を、4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などで活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
C	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解し、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などで活用しようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解しようとしたり、これらを活用して表現したり伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解しようとしている。 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考	時数
前期	4	Listening Box 2	写真選択、短い会話文の聞き取り	母音、値段	80
	5	Lesson 1,2			
	6	Lesson 01	海外からの留学生が、自分たちの国の祭りについて発表する	名詞を後ろから説明する分詞	
	7	Festivals of the World			
	8	Listening Box 2	会話文の聞き取り	カタカナ語、リンキング	
	9	Lesson 3,4			
		Lesson 02	バイオミメティクス (生物模倣技術) の2つの例を紹介	受け身	
		Biomimetics			
		Listening Box 2	電話の内容聞き取り、図の選択問題	電話番号、「t」の発音	
	Lesson 5,6				
	Lesson 03	私たちの消費行動に影響を及ぼすアンカリング効果とは私たちの消費行動に影響を及ぼすアンカリング効果とは	比較級・最上級		
	The Anchoring Effect				
	Listening Box 2	会話文の聞き取り、天気予報の聞き取り	否定の短縮形、「1」の発音		
	Lesson 7,8				
	Lesson 04	動物の心身の健康や幸福を考えるアニマルウェルフェアについて、ある高校と動物園の取り組みを紹介	現在完了形		
	Animal Welfare				
	Listening Box 2	店における予約の聞き取り、時間の聞き取り	助動詞「can」と「could」の発音、		

		Lesson 9, 10		感情を伝えるイントネーション	
		Lesson 05 Working Styles	メンバーシップ型雇用とジョブ型雇用について学び、自分が将来どんな働き方をしたいかについて考える	関係代名詞 what	
		Listening Box 2 Lesson 11~13	アナウンス、旅行計画、学校説明等の長文の聞き取り	前置詞、「b」「d」「g」「z」の無性発音、「have」の変化発音	
後期	10	Lesson 06 Bobbi Gibb	女性で初めてボストンマラソンを完走したランナー、ボビー・ギブの挑戦	知覚動詞+目的語+動詞の原形 /ing	60
	11	Listening Box 2 Lesson 14~16	道案内、短い物語、グラフの聞き取り	道の名称、語尾の「-ate」「-ace」「-age」の発音、アクセント	
	12	Lesson 07 Virtual Water	目には見えない水「バーチャルウォーター」を通じて、私たちの日常に潜む水資源の問題を考える	関係代名詞 who / which / that	
	1	Listening Box 2 Lesson 17~20	長文聞き取り、演習問題	文中における「of」の発音、長文問題攻略、英語のリズムの特徴	
	2	Lesson 08 Dresden's Decision	世界遺産登録の抹消を選択したドイツの都市ドレスデン	仮定法	
	3	Lesson 09 Resilience	逆境や困難からしなやかに回復する力、レジリエンスを鍛えるためのヒントを紹介	使役動詞+目的語+動詞の原形	
		Lesson 10 Chocolate and Child Labor	ガーナのチョコレート産業が抱える児童労働の問題に取り組む、ある日本の NGO の活動を紹介	助動詞+have+過去分詞	

令和8年度 「ビジネス基礎」 年間学習指導計画

教科	商業	学年・コース	第3学年 βコース	単位数	2
		教科書	ビジネス基礎 (実教出版)		
科目	ビジネス基礎	副教材	ビジネス基礎 準拠問題集 (実教出版) 令和8年度版電卓計算能力検定 過去問題集2級 (全経協会) 令和8年度版電卓計算能力検定 過去問題集2級 伝票問題 (全経協会)		
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。				
科目の目標	ビジネスに関する全体的な内容に触れることから、礼儀・挨拶・言葉遣いなど、基本的なことについて気を付けて授業を受ける。 また、電卓計算能力検定 2級 (全国経理教育協会) 取得に取り組む。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	ビジネスの諸活動、問題に興味・関心を持ち、その向上・改善に主体的に取り組む態度を持っている。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを基礎的基本的な知識を基に適切に判断、表現することができる。	商業の各分野に関する基礎的基本的な技術を身に付けビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用する。また、商業の各分野に関する基礎的基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解しようとしている。
B	ビジネスの諸活動、問題に興味関心を持ち、その向上・改善に取り組む態度を持っている。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを適切に判断、表現することができる。	商業の各分野に関する基礎的基本的な技術を身に付けビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用しようとしている。
C	ビジネスの諸活動、問題に興味関心を持ち、その向上・改善に取り組む態度が不十分である。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを適切に判断、表現することが不十分である。	商業の各分野に関する基礎的基本的な技術を身に付けビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用することが不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動	備考	時数
前期	4 5 6 7 8 9	商業の学習ガイダンス 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業 4 卸売業 5 物流業 6 金融業 7 情報通信業 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 資金調達 3 企業活動と税 ・電卓計算能力検定2級問題の演習	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		35
後期	10 11 12 1 2 3	4 雇用 5 企業倫理 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済 売買に関する計算 1 売買に関する計算の基礎 3 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		25

令和8年度 「情報処理」 年間学習指導計画

教科	商業	学年・コース	第3学年 βコース	単位数	3
		教科書	情報処理 新訂版 (実教出版)		
科目	情報処理	副教材	令和8年度 日検 情報処理検定 表計算3・4級編 模擬問題集 (日本情報処理検定協会)		
			令和8年度 日検 日本語ワープロ検定 3・4級編 模擬問題集 (日本情報処理検定協会)		
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。				
科目の目標	主にコンピュータを使用して実習形式で行う。主に教員機の画面で説明を行い、それぞれ課題に取り組む。与えられた課題を完成させ提出する。また、知識定着のために小テストも実施する。 また、情報処理技能検定3・4級 (日検協会) 及び日本語ワープロ検定3・4級 (日検協会) 取得に取り組む。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	表計算・文書作成ソフトウェア活用に必要な知識を身に付け、正しく理解して情報を収集・分析・表現することができる。	情報を処理するにあたって適切な処理の方法を思考、判断し、適切な処理をもって表現することができる。	コンピュータを活用してビジネスの諸活動において意欲的に主体的に情報の収集・分析・処理しようとしている。
B	表計算・文書作成ソフトウェア活用に必要な知識を身に付け、情報を収集・分析・表現することができる。	情報を処理するにあたって、処理の方法を思考、判断し、表現することができる。	コンピュータを活用してビジネスの諸活動において、情報の収集・分析・処理しようとしている。
C	表計算・文書作成ソフトウェア活用に必要な知識を身に付け、情報を収集・分析・表現することが不十分である。	情報を処理するにあたって、処理の方法を思考、判断し、表現することが不十分である。	コンピュータを活用してビジネスの諸活動において、情報の収集・分析・処理する態度が不十分である。

2 学習計画 (いつ、何を学ぶか)

学期	月	単元名	学習活動	備考	時数
前期	4	情報の活用と情報モラル	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成する。		35
	5	1 ビジネスと情報			
	6	2 情報モラル			
	7	3ハードウェアとソフトウェア			
	8	情報通信ネットワークと			
	9	セキュリティ			
		1 情報通信ネットワークの概要			
		2 ビジネス情報の検索と収集			
		3 ビジネス情報の受信と発信			
	4セキュリティ管理の基礎				
		※日本語ワープロ検定の演習			
後期	10	ビジネス情報の処理と分析	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成する。		25
	11	1 基本的な表の作成			
	12	2 関数を利用した表の作成			
	1	3 グラフの作成			
	2	4 情報の整列・検索・抽出			
	3	5 ビジネスと統計			
		ビジネス文書の作成			
		1 ビジネス文書と表現			
		2 図形と画像の活用			
		3 基本文書の作成			
		4 応用文書の作成			
		プレゼンテーション			
	1 プレゼンテーションの技法				
	2 ビジネスとプレゼン				
		※情報処理検定表計算の演習			

令和8年度 「フードデザイン」 年間学習指導計画

教科	家庭	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	フードデザイン Food Change LIFE (教育図書)		
科目	フードデザイン	副教材	新版基礎から学ぶビジュアルクッキング (教育図書)		
教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をとおして、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す。				
科目の目標	(1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	Bに加えて、知識及び技能について、科学的根拠や社会的背景との関連性に気付き理解することができている。	Bに加えて、多角的な視点から課題について分析や考察をし、解決策を考え、具体的に表現できている。	Bに加えて、意欲的に学習に取り組もうとしており、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組み、改善につなげようとしている。
B	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基礎知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る基礎的な技能を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活に関する諸問題に関心を持ち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。
C	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基礎知識が一部しか理解しておらず、それらに係る技能を十分に身に付けていない。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見しているが、食生活の充実向上を目指して思考を深められておらず、合理的かつ創造的に解決する力が不足している。	食生活に関する諸問題に関心が低く、自ら学ぼうとし、食育の推進に向けて積極的に取り組もうとする態度が見られない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第1章 健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の食生活から消化・吸収された栄養素が私たちのからだをつくっていることを理解する。</li> <li>五大栄養素それぞれの種類と役割、代謝について理解する。</li> <li>水の役割とファイトケミカルについて理解する。</li> <li>年齢や性別、運動量などによって、必要とされる栄養素に違いがあることを知り、ライフステージごとの特徴を理解する。</li> <li>食費のやりくりをしながら、栄養バランスの整った献立作成の工夫を考える。</li> <li>現代の食生活を見直すために、食育の大切さを理解する。</li> <li>食育について、家庭・学校・地域・企業それぞれの取り組みについて知り、主体的に取り組むことができるようになる。</li> <li>異世代に対して食べること大切さや食文化の伝承について実践する。</li> <li>各様式別料理の特徴を理解する。</li> <li>各様式の献立構成、食卓構成、作法を理解する。</li> <li>各様式に適した献立作成や供給に伴うマナーやサービスの技術を身に付ける。</li> </ul>	①単元テスト 有 ②中間考査 無 ③期末考査 有	30
	5	1 食事の意義と役割			
	6	第2章 栄養素と食品			
	7	1 栄養素と消化・吸収			
	8	2 各栄養素のはたらき			
	8	3 食品とその特徴			
	9	4 何をどれだけ食べる?			
		第4章 調理してみよう			
		第6章 食育と食育推進活動			
		1 食育推進の取り組み			
	3 食と環境について考えよう				
	第5章 各国料理とコーディネート				
	1 料理の様式				
	2 テーブルコーディネート				

後 期	10	第6章 各国料理とコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各様式別料理の特徴を理解する。</li> <li>・各様式の献立構成、食卓構成、作法を理解する。</li> <li>・各様式に適した献立作成や供応に伴うマナーやサービスの技術を身に付ける。</li> <li>・食事テーマを設定し、それに応じた献立を具体的に考える。</li> <li>・作成した献立を分析し、改善点を見つけ改善の工夫をすることができる。</li> <li>・自身にとって食べることの意義を理解し、卒業後どのような食生活を送っていききたいかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①単元テスト 有</li> <li>②中間考査 無</li> <li>③期末考査 有</li> </ul>	30
	11	1 料理の様式			
	12	2 テーブルコーディネート			
	1	第7章 調理してみよう			
2	実践編 献立と調理				
3	ホームプロジェクト 『家族に感謝メシ!を作ろう』				

令和8年度 「生活と福祉」 年間学習指導計画

教科	家庭	学年・コース	第3学年	単位数	2
		教科書	なし		
科目	生活と福祉	副教材	生活と福祉（実教出版）		
教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をとおして、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す。				
科目の目標	(1) 高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	Bに加えて、知識および技能について、科学的根拠や社会的背景との関連性に気付き理解することができている。	Bに加えて、多角的な視点から課題について分析や考察をし、解決策を考え、具体的に表現できている。	Bに加えて、意欲的に学習に取り組もうとしており、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組み、改善につなげようとしている。
B	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的に取り組んでいる。
C	高齢者の健康と生活、介護などについて知識を一部しか理解できておらず、関連する技術を十分に身に付けていない。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を見出しているが、思考を深められておらず、合理的かつ創造的に解決する力が不足している。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学ぼうとしておらず、積極的に取り組もうとする態度が見られない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	1章 健康と生活	・健康の概念について理解している。	・単元テスト有 ・中間考査 無 ・期末考査 有	30
	5	1 健康に関する諸概念	・ライフステージごとの健康問題を踏まえ高齢期までの課題を発見し、その解決に向けて考察する力を身に付けている。 ・家族が病気になったときの基本的な看護の心構えを理解する。 ・体温/脈拍/呼吸/血圧測定等看護の基本的な技術を取得する。 ・高齢化の現状と高齢者について理解する。 ・高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的にかつ協働的に取り組むために実践しようとしている。 ・高齢者の生活課題に対する施策を知る。 ・認知症の理解を深め、正しい支援のあり方を考える。		
	6	2 ライフステージと健康管理			
	7	6章 看護の実習			
	8	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴			
9	3章 高齢者の自立支援 認知症サポーター養成講座 4章 高齢者支援の法律と制度				
後期	10	5章 介護の実習	高齢者に見られる心身の変化に対応した基本的な介護技術の方法を理解する。 体位変換、ボディメカニクス、歩行助、車いすの移乗・移動、食事、衣服の着脱、身体の清潔、排泄の介護、褥瘡の予防、災害時の介護	・単元テスト有 ・中間考査 無 ・期末考査 有	30
	11	6章 看護の実習	・熱中症やのどにものがつまったときなどの応急手当について理解する。		
	12				
	1	7章 生活支援	・生活支援の考え方を理解しよう。 ・高齢者の生活支援について考え、実践できることを考え、実践する。		